

## 平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月4日

上場取引所 東

上場会社名 アルフレッサホールディングス株式会社

コード番号 2784 URL <http://www.alfresa.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 久保 泰三

問合せ先責任者 (役職名) 財務企画部長 兼 広報IR室長 (氏名) 根本 壮一 (TEL) 03-5219-5102

四半期報告書提出予定日 平成28年8月10日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	644,917	1.5	10,027	35.8	12,774	29.0	8,792	41.7
28年3月期第1四半期	635,482	8.5	7,381	16.4	9,905	7.8	6,203	2.7

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 11,315百万円(46.0%) 28年3月期第1四半期 7,750百万円(2.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	40.58	—
28年3月期第1四半期	27.73	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第1四半期	1,271,902	376,345	29.4
28年3月期	1,253,494	368,727	29.2

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 374,199百万円 28年3月期 366,542百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	16.00	—	17.00	33.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	17.00	—	17.00	34.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,292,000	2.4	13,700	△13.2	18,500	△11.1	11,100	△16.1	51.23
通期	2,623,000	1.8	37,900	△16.3	47,600	△14.2	30,300	△13.4	139.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 ー 社(社名) ー、除外 ー 社(社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 有

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細につきましては、〔添付資料〕P.4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期1Q	235,017,600株	28年3月期	235,017,600株
29年3月期1Q	18,337,859株	28年3月期	18,337,555株
29年3月期1Q	216,679,862株	28年3月期1Q	223,668,999株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算開示時点において金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、今後の様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
(4) 追加情報 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書 .....	7
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(平成28年4月1日～6月30日)の国内景気は緩やかな回復基調が続くものの、新興国および資源国等の成長鈍化に伴う輸出の減速や、国際政治の変動等に伴う金融資本市場の影響および個人消費の足踏み等、先行きには下方リスクも見られております。

このようななか当社グループでは、新たに「16-18中期経営計画 明日への躍進」を策定し、今年度よりグループ経営方針(Challenge 3)に掲げた「グループ一体となった事業強化」、「健康・医療関連領域の拡充」、「環境変化に先駆けた事業モデルの変革」に取り組んでおります。

そうしたなか、当第1四半期連結累計期間における当社の業績は、売上高6,449億17百万円(前年同期比1.5%増)、営業利益100億27百万円(同35.8%増)、経常利益127億74百万円(同29.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益87億92百万円(同41.7%増)となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

#### ① 医療用医薬品等卸売事業

医療用医薬品市場におきましては、平成28年4月の診療報酬改定を受けて平均7.8%の薬価引き下げの影響等があったものの、4.4%の成長(クレコンリサーチ&コンサルティング株式会社推定)となりました。このような状況のなか、医療用医薬品等卸売事業につきましては、業界共通の最重要課題である「流通改革の推進」の取り組みを徹底し、医療用医薬品No. 1卸として環境変化に先駆けた事業基盤のさらなる強化を進めました。

平成28年7月、アルフレッサ株式会社(本社：東京都千代田区)は、ティーエスアルフレッサ株式会社(本社：広島市西区)の九州エリアにおける医療用医薬品等卸売事業を統合しました。また本年10月には東海地方を営業エリアとするシーエス薬品株式会社(本社：名古屋市中区)を合併する予定となっております。各地域においてお客様へのニーズに幅広くお応えする体制を整えて事業基盤を強化し、お客様満足度のさらなる向上を目指してまいります。

物流面では、アルフレッサ株式会社が昨年度の大阪物流センター(所在地：大阪市北区)の稼働に続いて、平成28年5月に京都医薬品センター(所在地：京都市伏見区)を稼働しました。両センターは多くの医療機関が集まる大阪、京都の中心部に位置しており、地域に密着した安心・安全な医薬品流通の中核拠点として今後も地域医療へ寄与してまいります。

当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は5,694億51百万円(前年同期比0.8%増)、営業利益は94億13百万円(同39.0%増)となりました。なお、売上高には、セグメント間の内部売上高32億51百万円(同11.6%増)を含んでおります。

#### ② セルフメディケーション卸売事業

セルフメディケーション卸売事業におきましては、全社で推進している物流改革によるコスト削減や利益率の高い専売商品の販売に注力することにより安定的な利益の確保に努めました。

当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は644億36百万円(前年同期比5.2%増)、営業利益は5億67百万円(同129.6%増)となりました。なお、売上高には、セグメント間の内部売上高3億85百万円(同185.3%増)を含んでおります。

#### ③ 医薬品等製造事業

医薬品等製造事業におきましては、平成28年4月にエーザイ株式会社(本社：東京都文京区)の子会社であるサンノバ株式会社(本社：群馬県太田市)の医薬品等製造販売事業を承継し、当社の連結子会社として営業を開始いたしました。

アルフレッサ ファーマ株式会社(本社：大阪市中央区)は、サノフィ株式会社と共同開発した抗てんかん薬「サブリアル®散分包500mg」の製造販売承認を取得し、本年7月より発売いたしました。

当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は93億57百万円(前年同期比30.3%増)、営業利益は2億53百万円(同120.7%増)となりました。なお、売上高には、セグメント間の内部売上高20億75百万円(同1.3%減)を含んでおります。

④ 医療関連事業

医療関連事業におきましては、「ヘルスケアコンソーシアムの実現」に向けて健康・医療関連領域の拡充を進めております。主な事業である調剤薬局事業は平成28年4月の調剤報酬改定等の影響を受けております。

当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は73億83百万円(前年同期比0.9%増)、営業損失は1億12百万円(前年同期は営業利益2億16百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産の部

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、当連結会計年度より連結子会社が1社増加した影響等により、前連結会計年度末と比較して184億7百万円増加し、1兆2,719億2百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末と比較して95億69百万円増加し、9,747億5百万円となりました。これは主として、「現金及び預金」が436億15百万円増加ならびに「受取手形及び売掛金」が29億61百万円増加した一方で、「有価証券」が419億55百万円減少したことによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末と比較して88億37百万円増加し、2,971億97百万円となりました。これは主として、「投資有価証券」が40億98百万円増加ならびに「建物及び構築物(純額)」が24億81百万円増加したことによるものです。

② 負債の部

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末と比較して107億89百万円増加し、8,955億56百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末と比較して91億16百万円増加し、8,446億29百万円となりました。これは主として、「支払手形及び買掛金」が100億66百万円増加した一方で、「未払法人税等」が42億67百万円減少したことによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末と比較して16億73百万円増加し、509億27百万円となりました。これは主として、「退職給付に係る負債」が11億31百万円増加したことによるものです。

③ 純資産の部

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末と比較して76億18百万円増加し、3,763億45百万円となりました。

これは主として、「利益剰余金」が51億9百万円増加ならびに「その他有価証券評価差額金」が26億45百万円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期決算期における市場の動向および当社グループの業績は概ね計画通り推移しており、本年5月11日に公表いたしました業績予想からの変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

有形固定資産(リース資産を除く)の減価償却の方法は、従来、主として定率法によっておりましたが、当第1四半期連結会計期間より、定額法に変更しております。

「16-18 中期経営計画 明日への躍進」を策定するにあたり、有形固定資産の減価償却方法を見直した結果、医薬品等の安定供給を担う当社グループの有形固定資産の使用実態には定額法がより適していると判断したことによるものです。

この変更に伴い、従来の方法と比較して、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益および税金等調整前当期純利益はそれぞれ322百万円増加しております。なお、当該変更によるセグメント情報への影響は、当該箇所に記載しております。

(4) 追加情報

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	118,174	161,789
受取手形及び売掛金	612,182	615,143
有価証券	42,000	44
商品及び製品	129,816	129,094
仕掛品	572	1,314
原材料及び貯蔵品	2,882	3,458
その他	59,851	64,205
貸倒引当金	△343	△345
流動資産合計	965,135	974,705
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	50,133	52,614
土地	64,727	65,509
その他（純額）	15,628	16,535
有形固定資産合計	130,489	134,659
無形固定資産		
のれん	7,337	7,708
その他	7,615	7,681
無形固定資産合計	14,952	15,389
投資その他の資産		
投資有価証券	125,409	129,508
その他	22,513	22,649
貸倒引当金	△5,006	△5,009
投資その他の資産合計	142,917	147,148
固定資産合計	288,359	297,197
資産合計	1,253,494	1,271,902

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	795,006	805,072
短期借入金	679	819
未払法人税等	12,628	8,360
賞与引当金	7,887	8,501
その他	19,310	21,874
流動負債合計	835,512	844,629
固定負債		
長期借入金	1,309	1,217
退職給付に係る負債	17,762	18,893
その他	30,181	30,816
固定負債合計	49,254	50,927
負債合計	884,766	895,556
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	18,454	18,454
資本剰余金	103,121	103,121
利益剰余金	205,784	210,893
自己株式	△16,017	△16,018
株主資本合計	311,342	316,451
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	59,546	62,191
繰延ヘッジ損益	△13	△18
土地再評価差額金	△4,143	△4,143
為替換算調整勘定	175	135
退職給付に係る調整累計額	△364	△417
その他の包括利益累計額合計	55,199	57,747
非支配株主持分	2,185	2,146
純資産合計	368,727	376,345
負債純資産合計	1,253,494	1,271,902



## (2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	635,482	644,917
売上原価	590,678	597,033
返品調整引当金戻入額	777	822
返品調整引当金繰入額	732	781
売上総利益	44,849	47,924
販売費及び一般管理費	37,467	37,896
営業利益	7,381	10,027
営業外収益		
受取利息	40	20
受取配当金	757	807
受取情報料	1,440	1,491
その他	463	553
営業外収益合計	2,702	2,873
営業外費用		
支払利息	31	27
持分法による投資損失	82	9
不動産賃貸費用	41	33
その他	23	55
営業外費用合計	179	126
経常利益	9,905	12,774
特別利益		
固定資産売却益	4	18
投資有価証券売却益	29	7
特別利益合計	33	26
特別損失		
固定資産売却損	—	0
固定資産除却損	12	88
減損損失	175	157
投資有価証券評価損	91	7
特別損失合計	279	254
税金等調整前四半期純利益	9,659	12,546
法人税、住民税及び事業税	3,744	7,878
法人税等調整額	△370	△4,092
法人税等合計	3,373	3,786
四半期純利益	6,285	8,760
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,203	8,792
非支配株主に帰属する四半期純利益	82	△32

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,226	2,643
繰延ヘッジ損益	△1	△1
土地再評価差額金	5	—
為替換算調整勘定	0	△39
退職給付に係る調整額	235	△41
持分法適用会社に対する持分相当額	△2	△5
その他の包括利益合計	1,464	2,554
四半期包括利益	7,750	11,315
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,651	11,336
非支配株主に係る四半期包括利益	99	△21

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	医療用 医薬品等 卸売事業	セルフメディ ケーション 卸売事業	医薬品等 製造事業	医療 関連事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	561,948	61,138	5,080	7,315	635,482	—	635,482
セグメント間の内部売上高 または振替高	2,914	135	2,102	0	5,151	△5,151	—
計	564,862	61,273	7,182	7,315	640,634	△5,151	635,482
セグメント利益	6,770	247	115	216	7,349	32	7,381

(注) 1. セグメント利益の調整額32百万円には、セグメント間取引消去1,524百万円および各報告セグメントに配分していない全社費用△1,492百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(1) 固定資産に係る重要な減損損失

該当事項はありません。

(2) のれんの金額の重要な変動

該当事項はありません。

(3) 重要な負ののれん発生益

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 財務諸表 計上額 (注)2
	医療用 医薬品等 卸売事業	セルフメディ ケーション 卸売事業	医薬品等 製造事業	医療 関連事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	566,199	64,051	7,282	7,383	644,916	0	644,917
セグメント間の内部売上高 または振替高	3,251	385	2,075	0	5,711	△5,711	—
計	569,451	64,436	9,357	7,383	650,628	△5,711	644,917
セグメント利益	9,413	567	253	△112	10,122	△94	10,027

(注)1. セグメント利益の調整額△94百万円には、セグメント間取引消去1,641百万円および各報告セグメントに配分していない全社費用△1,735百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

## (1) 固定資産に係る重要な減損損失

該当事項はありません。

## (2) のれんの金額の重要な変動

該当事項はありません。

## (3) 重要な負ののれん発生益

該当事項はありません。

## 3. 報告セグメントの変更等に関する事項

P4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」に記載のとおり、有形固定資産の減価償却の方法を定率法から定額法に変更したため、事業セグメントの減価償却の方法を同様に変更しております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当第1四半期連結累計期間の「医療用医薬品等卸売事業」のセグメント利益が258百万円増加、「セルフメディケーション卸売事業」のセグメント利益が3百万円増加、「医薬品等製造事業」のセグメント利益が46百万円増加、ならびに「医療関連事業」のセグメント利益が11百万円増加しております。